

第4次産業革命 人材育成推進会議（第4回）

平成29年3月22日

資料12

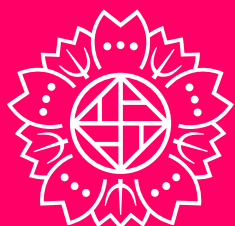
日本女子大学 リカレント教育課程 2017年 10周年



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍

厚生労働省
「専門実践教育訓練講座」
指定講座



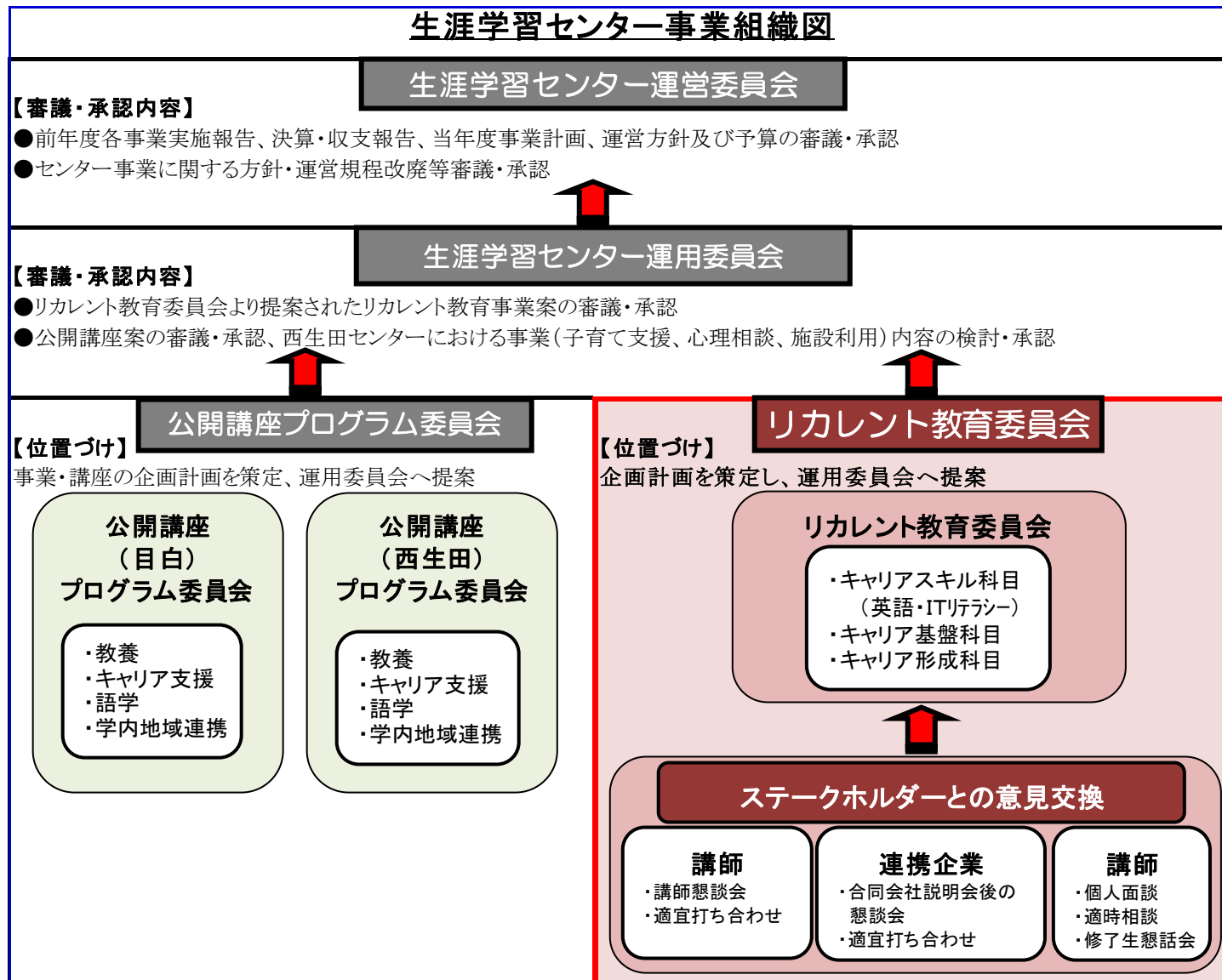
学校法人
日本女子大学

2017年 3月22日

日本女子大学 リカレント教育課程

沿革

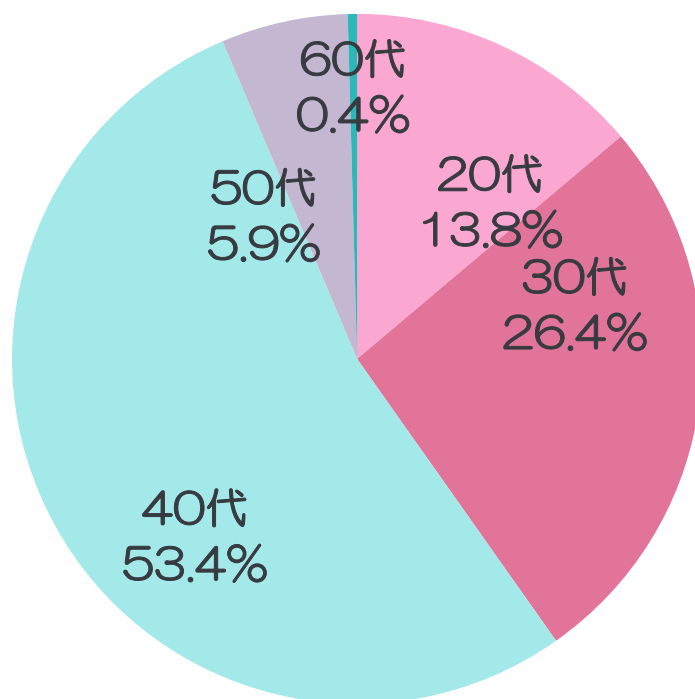
- 文部科学省の2007年度
「社会人の学び直しニーズ対応教育事業委託」採択
- 2007年12月 改正学校教育法
社会人にプログラムを提供し、履修証明を授与する課程を
設置を認める。
- 2008年 4月 より大学の課程
- 2010年 3月 本学独自の運営を開始
- 2015年12月 文部科学省が定める
「職業実践力育成プログラムBP」認定
- 2016年 1月 厚生労働省「専門実践教育訓練講座」指定
- **2017年 10周年**



リカレント教育課程受講生に関するデータ 入学者の多様性

(1回生～18回生 2016年4月まで 全入学者455名のデータ)

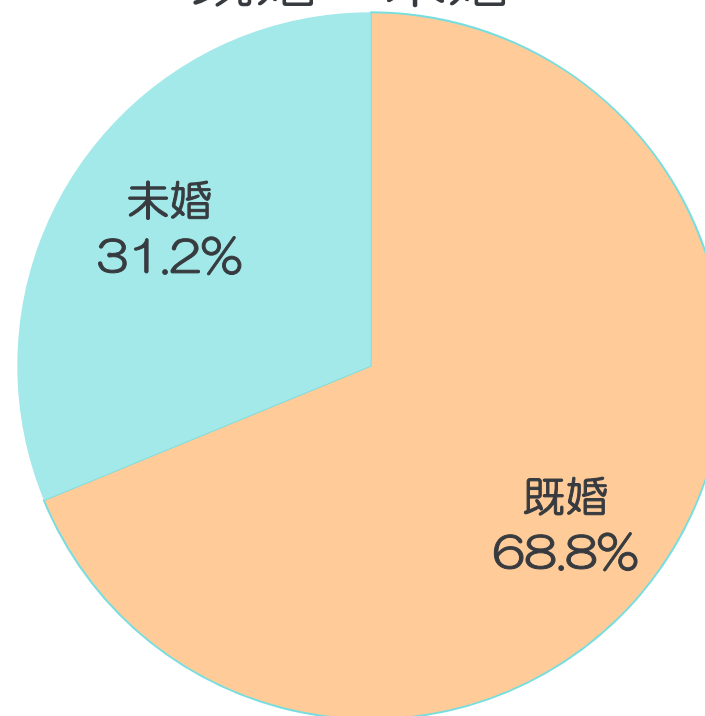
受講開始時の年齢



平均年齢

全入学者：39.8歳

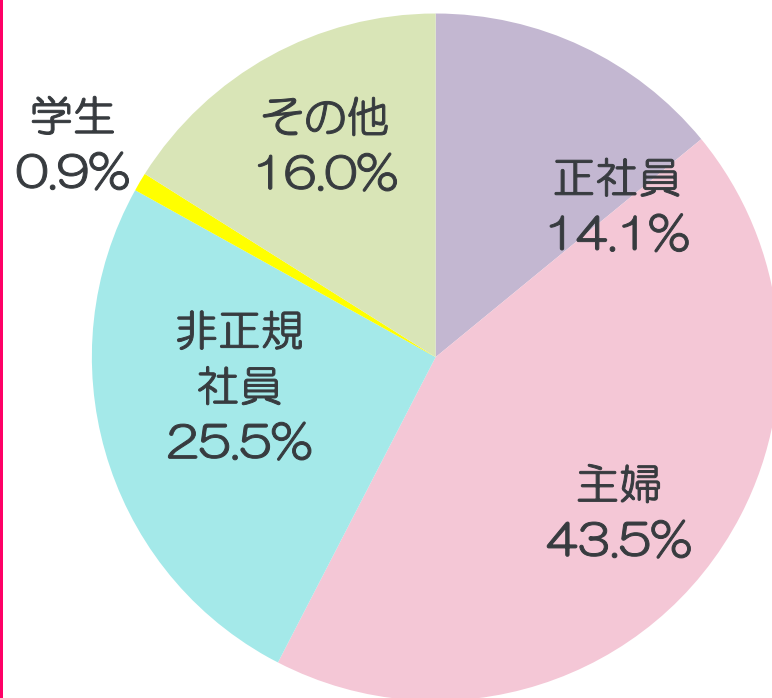
既婚・未婚



リカレント教育課程受講生に関するデータ

(1回生～18回生 2016年4月まで 全入学者455名のデータ)

受講開始時の職歴



応募の動機

- ◆ 再就職に必要なビジネススキル・知識を修得しスキルアップしたいため
- ◆ ブランクが長く仕事や就職環境について情報不足なため
- ◆ 学び直しをして再就職に対する自信をつけたいため
- ◆ 就職難の時代に社会に出て、非正規雇用を重ねてきたので正社員として就職したいため
- ◆ 育児休業中にブラッシュアップしたいため
- ◆ 前職と異なる仕事に就きたいがスキル不足を実感したため
- ◆ 離婚や夫との死別により扶養家族のために就職したいがスキル不足なため
- ◆ 10年後の自分の生き方・働き方を考える機会を持ちたいため

受講生の声（入学時）

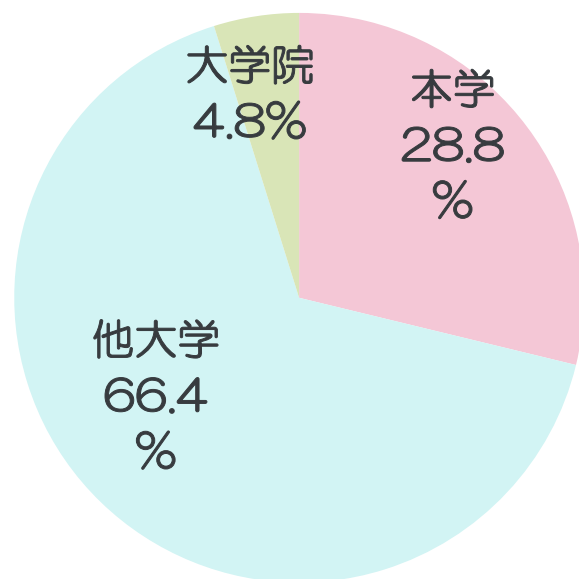
- ・ 再就職のための学びの場があり、ブランクが長い自分にとって、とても望んでいたプログラムです。このようなプログラムを設けてくださりありがとうございます。
- ・ 自分に自信をもち、社会に出る強い心をもちたいです。
- ・ いま社会で最も必要とされている教育の一つだとおもいます。
- ・ このようなプログラムを実践していくことは、女性の力となります。これからも長く女性を応援するプログラムを続けてください。
- ・ 開設から10年という実績に期待しています。開設当初は家庭のことで身動きがとれなく、今回受講をすることができました。

リカレント教育課程受講生に関するデータ

(1回生～18回生 2016年4月まで全入学者455名のデータ)

入学実績
122大学・大学院

出身大学



出身者数上位の大学
(日本女子大学以外) ※ 出身者数の多い順

1位	慶應義塾大学	
2位	東京女子大学	
3位	早稲田大学	
4位	上智大学	
5位	日本大学	
6位	学習院大学	
6位	立教大学	
8位	青山学院大学	
8位	フェリス学院大学	
8位	法政大学	
8位	明治大学	
12位	中央大学	
13位	共立女子大学	
14位	専修大学	
15位	同志社大学	
16位	跡見学園女子大学	
17位	お茶の水女子大学	
	神戸大学	
	国際基督教大学	
	聖心女子大学	
	玉川大学	
	津田塾大学	
	東京外国語大学	
	東洋英和女学院大学	
	東洋大学	
	明治学院大学	
27位	成蹊大学	
	成城大学	
	筑波大学	
	獨協大学	
	放送大学	
32位	関西大学	
	神田外語大学	
	神戸市外国語大学	
	國學院大学	
	白百合女子大学	
	実践女子大学	
	昭和女子大学	
	東京大学	
	東京家政大学	
	東京学芸大学	
	東京都立大学	
	東京農業大学	
	東北大学	
	大学院	
	九州芸術工科大学	
	熊本大学大学院	
	国際基督教大学大学院	
	埼玉大学大学院	
	玉川大学大学院	
	筑波大学大学院	
	東京大学大学院	
	東京農業大学大学院	
	明星大学大学院	
	横浜国立大学大学院	

専門実践教育訓練講座

2016年度 職業訓練給付制度

専門実践教育訓練給付金・支援金申請者

第18回生 入学者56名

給付金種類	人数（比率）	修了者 （修了率）
給付金申請者	16名（28%）	16名 （100%）
支援金申請者	9名（16%）	

月	2017年度（予定）
1 2～2	（入学試験）
4	開講式／履修ガイダンス／履修登録／前期授業開始
5	前期グループワーク（希望者）
6	通信教育課程 土曜スクーリング聴講（希望者）／前期グループワーク
7	前期授業終了／定期試験／期末ガイダンス
8	学部科目夏期集中授業（希望者）／ 通信教育課程 夏期スクーリング聴講生（希望者）
9	企業連携講座開講／後期ガイダンス／後期授業開始
1 0	修了生懇話会／再就職個人面談／後期グループワーク
1 1	通信教育課程 土曜スクーリング聴講（希望者）／後期グループワーク
1 2	後期グループワーク／冬季休暇
1	個別会社説明会／後期授業終了／定期試験／期末ガイダンス
2	合同会社説明会
3	修了式

※生涯学習センター連携講座（土曜開催・希望者）

学び直し Curriculum

1. プログラム内容
2. プラスサービス



学校法人
日本女子大学

リカレント教育課程 修了要件

- ・ 14科目 28単位履修
 - ＊2016年度（18回生） 平均履修科目数 33科目
- ・ 必修7科目
- ・ 選択7科目
- ・ 各科目の出席回数2／3以上＊出席率高
- ・ 期末試験実施（テスト、レポート等）

リカレント教育課程の授業時間

1 科目・・・21時間（14回）／半期

1時限目 9:00～10:30

2時限目 10:40～12:10

3時限目 13:00～14:30

4時限目 14:40～16:10

＊お子さんの小さい方は1～3時限目に履修

＊再就職後を想定して1時限目の科目を設置

＊後期には家族が就職後の生活に慣れるために、授業終了後も大学施設を利用して帰宅する受講生もいる。

リカレント教育課程のカリキュラム

キャリア・スキル科目群＜必修＞年間7科目

【キャリア形成】 キャリアマネジメントⅠ・Ⅱ

【英語】（前期）TOEIC 585, 835, 総合英語から1科目
（後期）ビジネス英語

【ITスキル】（前期1科目、後期1科目）

Ⅰ ITリテラシー1・2 ※履修免除要件あり

【日本語コミュニケーション】（前後期から1科目）

敬語の使い方、メール、文書作成、応募書類の書き方



リカレント教育課程のカリキュラム

必修 「ITリテラシー1」 (前期1科目) 2クラス

1 A

コンピュータの仕組みを理解する。
WORDで文書作成における効率的な操作方法、画像等を含んだインパクトのある文書作成ができる事。

入学時：
WORDの基本的な機能を使いこなせる。
Excelの基本的な関数とグラフ作成ができる。

1 B

EXCELで基本的な関数を使った表計算、種類豊富なグラフ作成ができる事、データの並べ替え、抽出ができる事。WORDとEXCELの連携ができる事。

PowerPointでプレゼンテーション。

入学時：
WORDで文書作成はできるが機能を使いこなせていない。
Excelの使ったことはあるが使いこなせる関数が少なく、グラフ作成はできない。



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校法人 日本女子大学

リカレント教育課程のカリキュラム

必修 「ITリテラシー2」 （後期1科目）2クラス

2A

ITツールを使いこなすことを目標として育成する。

表計算ソフトウェアの実践的な実習を中心にプレゼンテーションの作成まで情報活用力を中心に学習する。

MOS 一般や上級（Excel 2016）に合格できる力を養う。

ExcelのVBA（マクロ）を中心に自動登録マクロの作成～簡単なマクロの修正・追加を学ぶ

アクセスの基本操作を学ぶ

1B

情報倫理やネットワーク環境についても学習する。

MOS 一般や上級（Excel 2016）に合格できる力を養う。
必要な情報を調べて使うことができるようになる。



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校法人 日本女子大学

リカレント教育課程のカリキュラム

キャリア・スキル科目群 前期 <必修3 or 4科目>

1. キャリアマネジメントⅠ（希望のクラスを選択）

ⅠA「ブランクが長い、非正規雇用が続いた、企業内研修を受ける機会が少なかった」

ⅠB「入学直前まで正社員、フルタイムで勤務していた」

【科目の目標】 キャリアマネジメント講座の最終目標：受講生が社会環境の変化を理解し、自身の働き方・生き方の選択として、自信を持って再就職に取組むこと。女性の生き方・働き方の修得と、再就職・就業に必要な実践的スキルを身につける。

リカレント教育課程のカリキュラム

キャリア形成科目群 <選択必修> 年間7科目

1. 「時事英語Ⅰ」
2. 「時事英語Ⅱ」 *英会話授業
3. 「TOEIC 715」
4. 「TOEIC 945」
5. 「ITリテラシー3」 *WEBデザイン

6. 「企業会計入門」
7. 「初級簿記」 *簿記3級レベル
8. 「貿易実務」 *貿易実務検定C級準備講座
9. 「国際物流」 *貿易実務検定B・C級準備講座

*社会保険労務士準備講座 (*前後期 4科目 各1単位)

10. 「健康保険法と国民年金法」
11. 「厚生年金保険法と社会保険一般常識」
12. 「労働法と人事労務管理」
13. 「労働保険法」

14. 「マーケティングマネジメント」
15. 「マーケティング戦略」

リカレント教育課程のカリキュラム

キャリア形成科目群 <選択必修> 年間7科目

*消費生活アドバイザー（消費生活相談員）

16.「消費者問題と関連法規」 17.「くらしと経済」

18.「消費者視点で学ぶ行政・商品知識」

19.「企業と経済と市民生活」

*前後期4科目開講 各1単位

*4科目履修すると資格準備講座

20.内部監査の実務講座

21.記録情報管理者資格準備講座（前期3級・後期2級対策）

*企業寄付・連携科目

22.合同会社西友：セルフリーダーシップ・プログラム 夏期集中

23.大同生命保険株式会社, 24.株式会社キャリア・マム

*学部キャリア形成科目

25.NPOとNGO

26.現代ビジネスと起業

27.国際協力・ボランティア論

28.ライフステージと法

リカレント教育課程の授業

IT科目 ITリテラシーⅠ・Ⅱ・Ⅲ



双方向の授業

各科目において講義とディスカッション・プレゼンテーションを組合せたシラバス



学校法人 日本女子大学

リカレント教育課程で目指せるスキル

目指せる スキル

- Microsoft Office Specialist Excel
 - TOEIC 715 または TOEIC 945
 - 記録情報管理者
 - 消費生活アドバイザー
 - 社会保険労務士
 - 日商簿記3級以上
 - 公認内部監査人
 - 消費生活専門相談員
 - 貿易実務検定C級
- など

目指せる 知識

- 英文読解
- 時事英語理解
- ビジネス場面における英語のコミュニケーション能力
- Excel、Wordによる文書作成・編集
- PowerPointによるプレゼンテーション
- ホームページ作成・修正
- 企業の財務内容を読む力
- 経理の実務についての知識
- 業務におけるコミュニケーション能力
- 実践的な求職スキル

そのほか 日本女子大学での学び



科目等履修

4学部15学科の学部科目

2016年度

平均履修科目数 4科目／人

「通信教育課程」聴講

英語、独語、仏語、中国語

夏季休暇・土曜日履修

2016年度

平均聴講科目数 2科目／人



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校法人 日本女子大学

生涯学習センター事業として 学部生と学ぶ機会



毎日学ぶ
課外英会話
大学で毎日40分留学体験

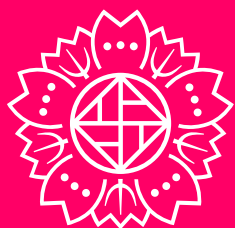
- ★1日40分／年間100回で125,000円
- ★レベル別に5クラスで開講（本年度実績）

★2016年度リカレント生の受講者数 26名（48%）
98～100回出席者 5名

★リカレント生の声「外部プログラムより安くて良い」「英語が好きになった」「時間が限られている中、続けやすく、とても良かった」等、満足度は高い。

再就職支援 Program

1. 支援内容
2. 就職実績



学校法人
日本女子大学

再就職支援概要

前期

- ・授業「キャリアマネジメントⅠ」
- ・日常的な支援
- ・グループワーク
- ・再就職イベント

後期

- ・授業「キャリアマネジメントⅡ」
- ・日常的な支援
- ・個人面談
- ・修了生と受講生の交流会
- ・グループワーク
- ・ホームカミングデー
- ・個別・合同会社説明会
- ・求人Webサイト

修了後

- ・再就職イベント
- ・合同会社説明会
- ・就職相談
- ・求人紹介

授業による再就職支援準備

1. 授業「キャリアマネジメントⅠ・Ⅱ」42時間

前期 14回 計21時間

後期 14回 計21時間

グループワーク、自己分析、自己開示、
書類作成、面接対策、就職後のロールプレイ

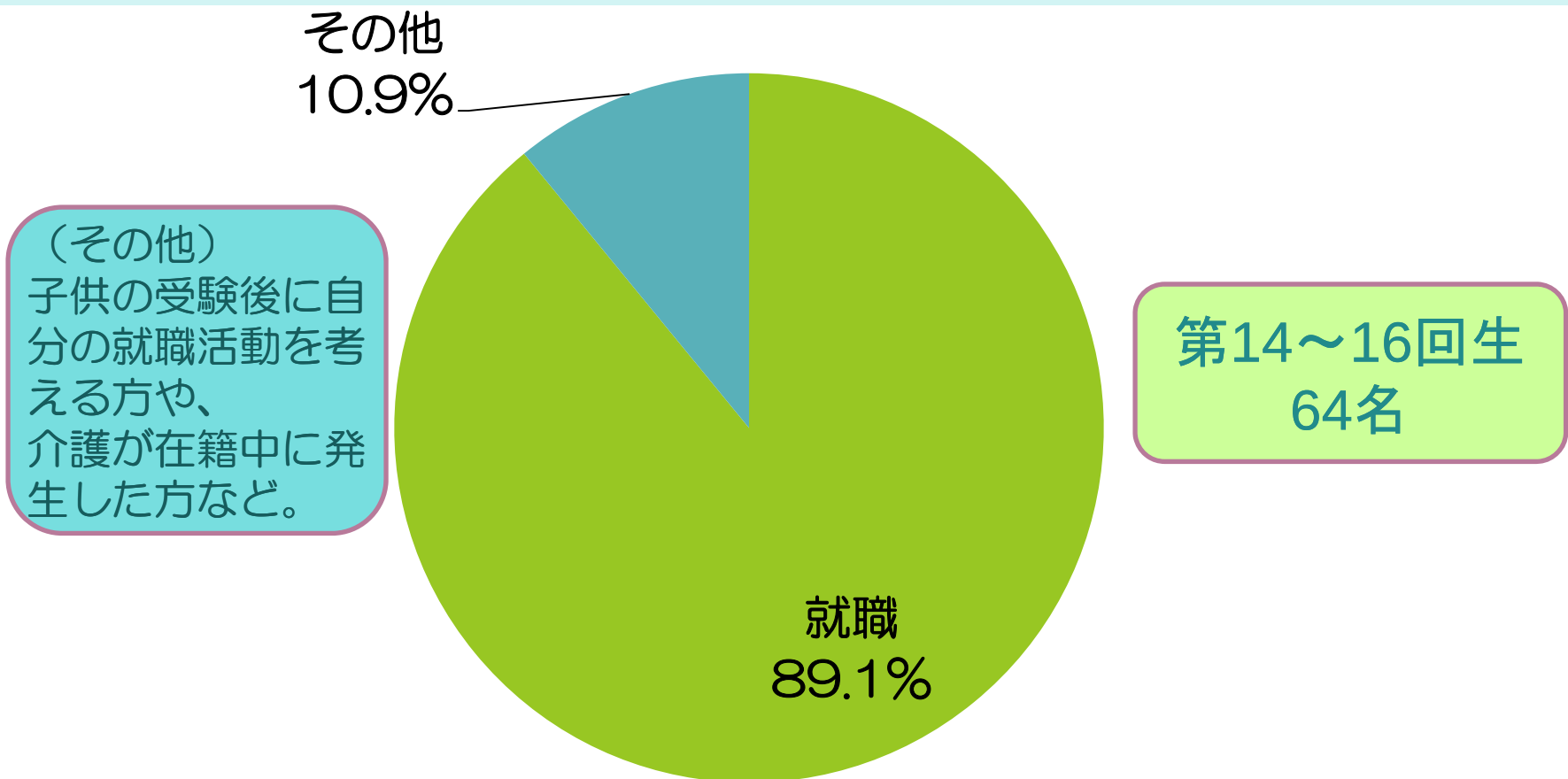
リカレント事務室での支援

1. 求人情報
2. 合同会社説明会開催
3. グループワーク開催
4. 就職相談（求人、働き方）
5. 応募書類の添削指導
6. 面接練習
7. 修了生の就職、離職相談
8. 企業との連携業務

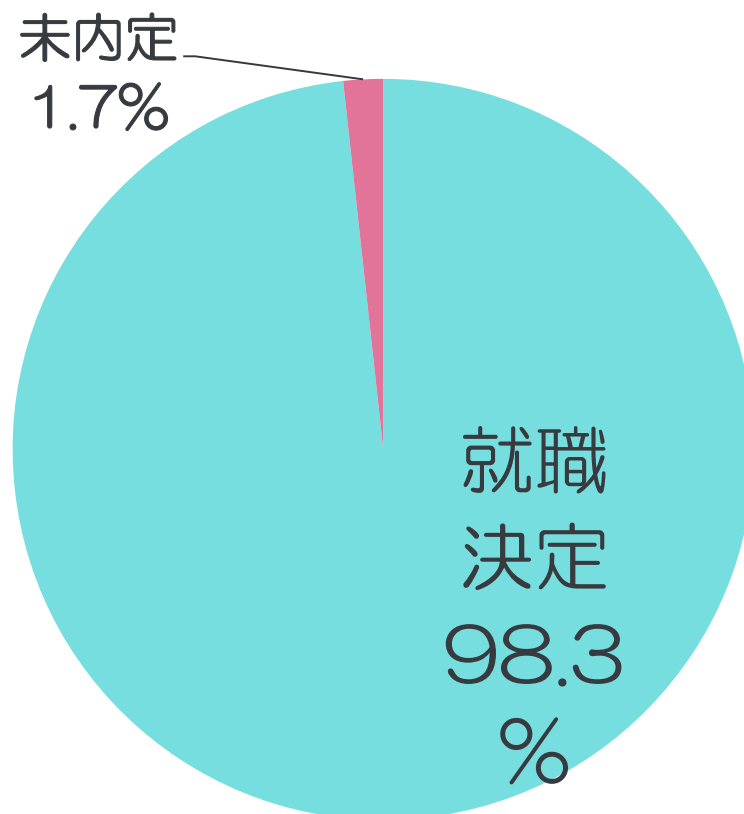
グループワーク内容・56名参加

1. 仕事と子育てとの両立
2. 再就職先での職場コミュニケーション
3. 正社員・契約・派遣これからの働き方、キャリア
4. 面接の基本、入退室マナー、受け答え
5. エゴグラムによる自己理解と円滑なコミュニケーションのヒント、ストレス対処、自分のコミュニケーションパターンと気付き

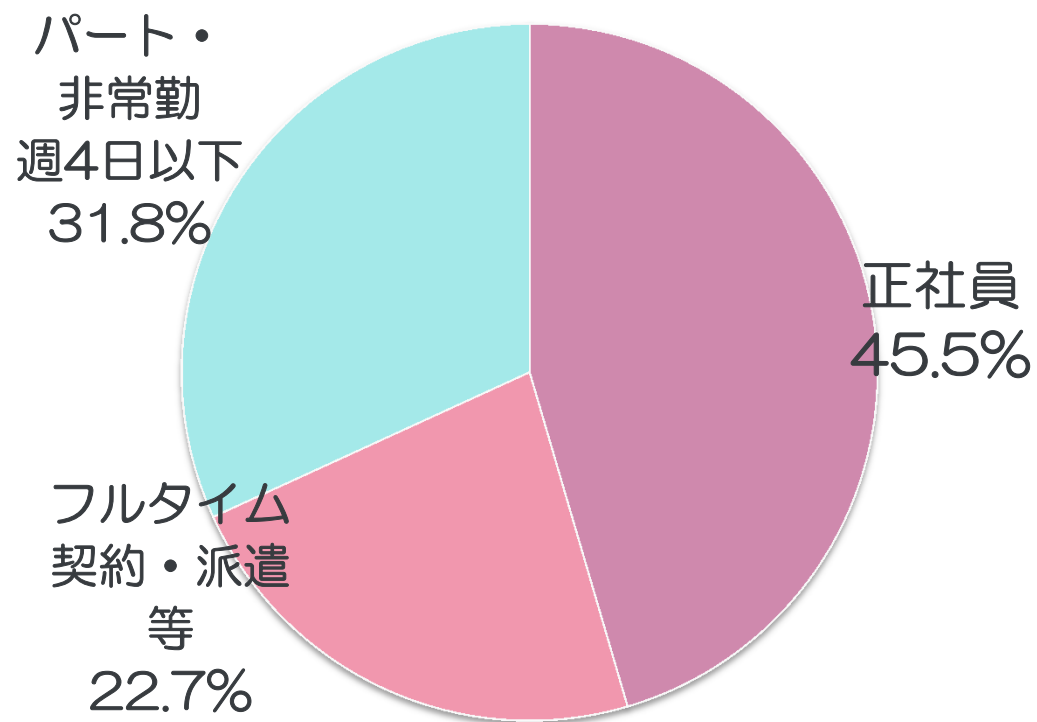
2015年3月～2016年3月修了の進路内訳



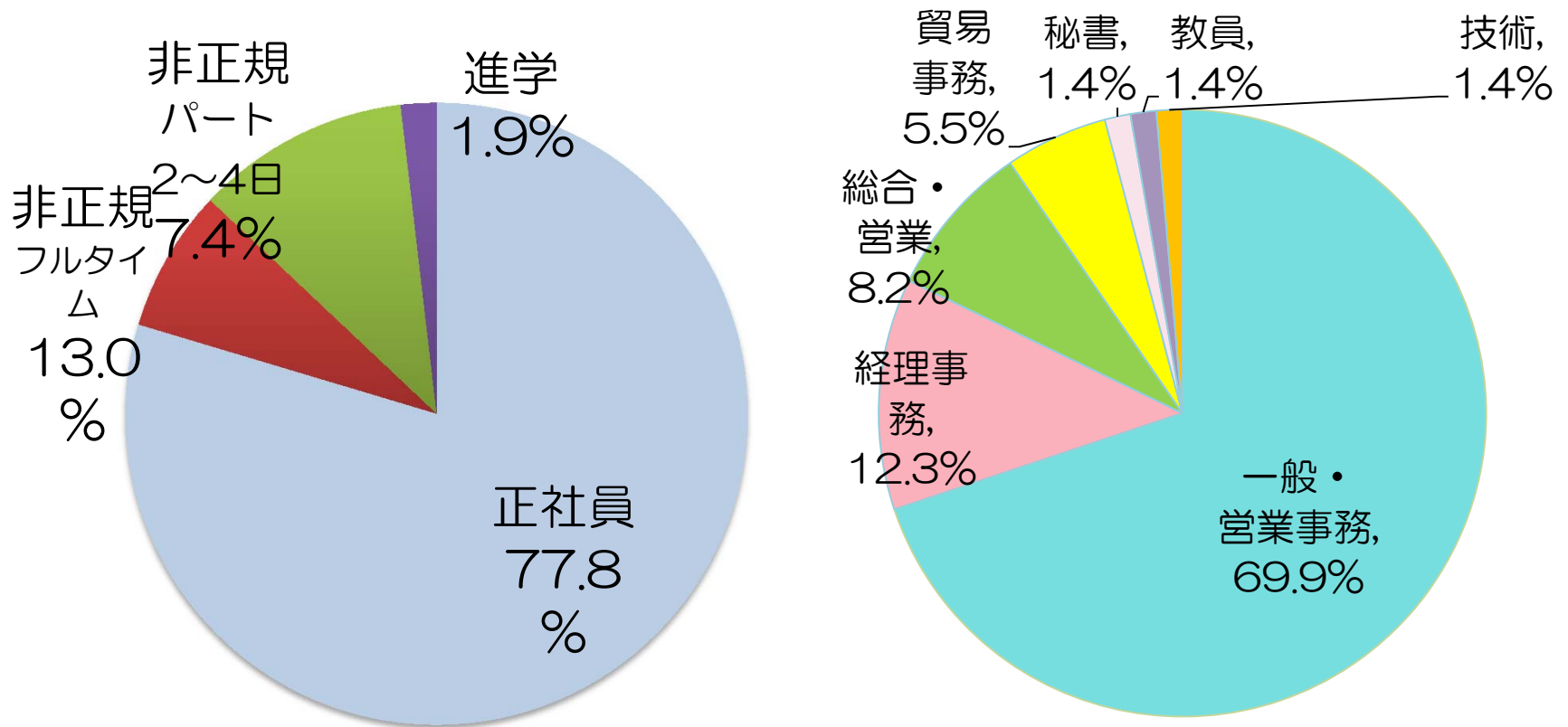
2015年3月～2016年3月修了 就職希望者の就職先決定率



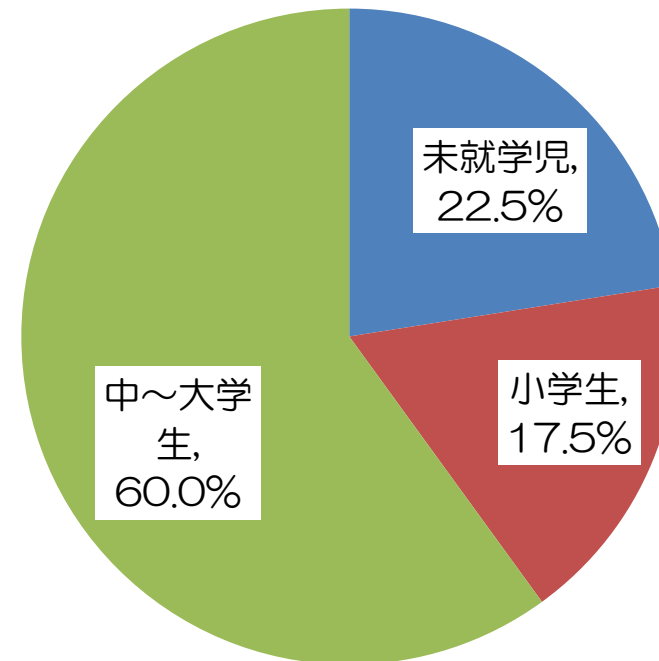
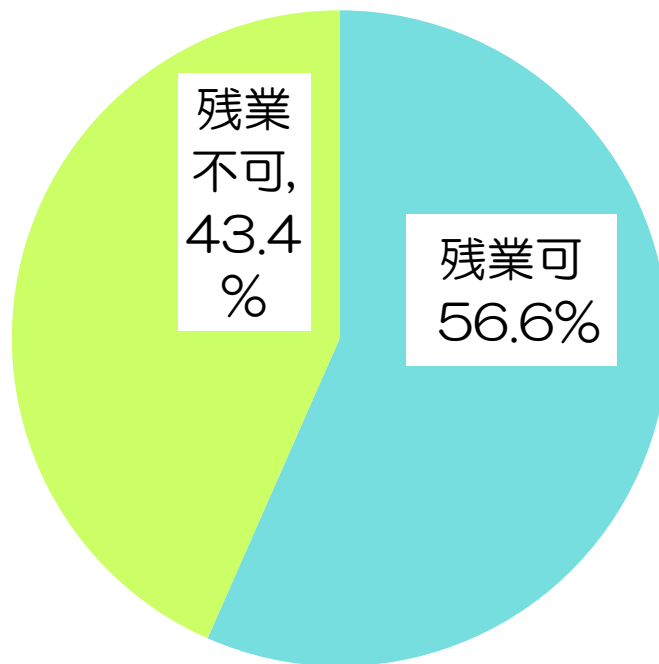
2016年3月修了 第16回生就職状況



2016年4月入学～2017年3月修了 第18回生 就職希望



第18回生 家庭環境 & 就労意識



リカレント教育課程の再就職支援ー 1

- リカレント教育課程主催 合同会社説明会
(再就職のあっせん) ◆参加企業数34社 (第12回)
◆企業によるプレゼンテーション、面談



リカレント教育課程の再就職支援ー2

- 独自の求人webサイト開設（再就職あっせん）

日本女子大学
リカレント教育課程

再就職Webサイト



 日本女子大学生涯学習センター



2013-05-27 更新

ユーザーID

パスワード

 会員ログイン

 学校法人 日本女子大学

リカレント教育課程 求人状況 2010年～2016年12月

求人数

総数

4,833件

リカレント直接求人
800件

ほか求人

1. 日本女子大学
新卒就職支援部署
(キャリア支援課) 既卒求人

2. 卒業生団体

一般社団法人 日本女子大学
教育文化振興桜楓会 就職幹
旋部署求人



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校法人 日本女子大学

リカレント教育課程主催 企業説明会の現状 第1回（2010年）～第11回（2016年）

企業数

延べ118社

*27社 複数回参加

経団連
加盟企業
4社

経団連加盟
企業グルー
プ・子会社
参加 7社

規模

大企業 47社
40.0%

中小企業 71社
60.2%



日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校法人 日本女子大学

文部科学省・内閣府「働き方改革実現推進室」・
厚生労働省・東京労働局の支援

2016年12月 文部科学省ご視察

総理との意見交換会 出席

塩崎厚生労働大臣室 訪問

2017年 1月 厚生労働省ご視察

2017年 2月 リカレント教育課程主催

「第12回合同会社説明会」 34社参加

(ハローワーク紹介10社を含む)

東京労働局のご協力（企業の招聘）

※会場内にハローワーク・マザーズハローワーク相談コーナー

企業連携プログラム

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

Recurrent Internship Program



学校法人
日本女子大学

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY Recurrent Internship Program

【目的】

1. 文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)として
双方向のプログラム実施
2. 2016年度在籍 第18回生 94.4%が就職希望 (80%が正社員志望)
3. 離職後のブランクによる就労不安
4. プログラムによるスキルアップ
5. リカレント受講生の企業側イメージの改善

【事前・事後指導】

- * 企業と大学間での覚書、実施内容の概要明細書を受講生に告知
- オリエンテーション (実習の諸注意、誓約書署名)
- 保険加入 (大学負担)
- 日誌提出 (受講生) 振り返り

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

Recurrent Internship Program

体験型企業連携 Program

（目的・効果）

◇離職後のブランクによる
就労不安（例：10～15年）

◇視点の変換（消費者から
ビジネスへ） など

Career Change Internship

（目的・効果）

◇非正規から正規
（例：氷河期世代、派遣社員経験）

◇未経験職種を経験

など

体験型企業
連携
Program
目的・効果

A. 離職後の長期間ブランクによる就労不安
(例：10年～15年)

B. 視点の変換
消費者からビジネスへ

C. 参加者と受入企業側
「Win-Win」の関係へ
受入企業の社内活性化

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

Recurrent

Internship Program

Career Change Internship Program 目的・効果

A. 非正規から正規

氷河期世代、派遣社員経験等

B. 未経験職種を経験

2017年3月実施予定：

NOCアウトソーシング(株) 経理実務体験

C. 起業

2017年前期実施予定(株) キャリア・ママ

前期授業科目 1単位

東京都インキュベーションHUB推進プロジェクト事業

D. マネージメント経験

総合職求人増



Brush up Program
for professional

日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍



学校
法人

日本女子大学

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY Recurrent Internship Program

平成23～27年度 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究」として
2014年度から開始し、2016年度で3回目を迎えた。

「セルフリーダーシップ・プログラム」

日本女子大学リカレント教育課程
合同会社西友 共催

【参加者】 3回実施 54名参加

2014年度…第1回（17名）

2015年度…第2回（17名）

2016年度…第3回（20名）

※2016年度は約34名の申込みがあり、抽選を実施。

2016年度 セルフリーダーシップ・プログラム概要

日時： 年8月2日（プレイベント） 30日、
9月1日、2日、5日、6日、7日

対象： 日本女子大学リカレント教育課程在籍者

目的： 小売業の現場での情報収集・考察を通じて、参加者が現場感覚を高め、自らの今後のキャリアの可能性について具体的にイメージし、構想する機会を提供する。

プログラムの基本構成

- 西友の様々な部門の視察し、現場の課題や取り組みを見聞すると共に、現場で活躍するリーダー（女性リーダー含む）との意見交換を行う。
- グループ毎に、事前に割り当てられた職務分野について、自分ならどうするか？という当事者意識をもって、情報収集、課題発見の上で、提案作成を行う。
- プログラムの最終日には、グループ毎に作成した提案を、西友のマネジメンメンバーにプレゼンテーションし、講評を得る。

セルフリーダーシッププログラム 2016



学校法人 日本女子大学

セルフリーダーシッププログラム 2016



セルフリーダーシッププログラム 2016



セルフリーダーシッププログラム 2016



セルフリーダーシップ・プログラム 実施内容

プレイベント 8月2日（火） 11時～12時半頃 （日本女子大学 内）	女性リーダーの講演	・ 会社制度・人事制度について → 質疑応答 ・ DC 女性リーダーの講演 → 質疑応答 ・ 若菜 女性リーダーの講演 → 質疑応答
第1日 8月30日（火） 9時半～11時半頃 （日本女子大学 内）	全体オリエンテーション （事前指導）	・ プログラムの全体説明とガイダンス（誓約書提出） ・ スーパーマーケット・ビジネス概論（社内の各部門の機能・役割や相互の関係などについて説明） ・ 西友の概要／各施設概要「店舗」、「若菜」、「物流センター」 ・ ダイバーシティ・女性活用の取組み紹介 ・ 提案作成のグループ分けの発表／2日目以降のプログラムの説明
第2日 9月1日（木） 9時45分～16時頃 （L I V I N 光が 丘店）	現場視察 ① より良いお買物環境の 実現をめざして	・ 店舗女性リーダーのスピーチ ・ グループディスカッション、発表、共有 ・ スピーチ、個人ワーク、グループワーク ・ 昼食は各自お弁当持参か、店舗でお弁当を購入
	商品が店舗に届くまで	・ 店舗視察（L I V I N 光が丘店） ・ 店舗の一日の流れを紹介、店舗ツアー ・ 配属チームごとに、本日の振り返りと明日以降の準備

第3日 9月2日（金） 10時～15時頃 三郷物流センター or 若菜工場	現場視察②	2グループに分かれて現場視察 - 三郷物流センター(埼玉県三郷市) 視察 - サプライチェーンマネジメント本部・三郷センターの役割紹介 - 作業体験/アソシエイトの活躍紹介 - 若菜工場(埼玉県川越市) 視察 - 生産部の紹介/若菜のダイバーシティの取り組み紹介
第4日 9月5日（月） 日本女子大学内 9時半～12時半 (午後残って作成可)	提案準備①	- 各グループに分かれて、プレゼンテーションの作成 - 西友アドバイザーが質問等に答え、追加情報・助言を提供
第5日 9月6日（火） 日本女子大学内 9時半～12時頃	提案準備②	- プレゼンテーションの形式説明、作戦会議 - 各グループに分かれプレゼンテーションの練習 - 参加者が相互に改善点をアドバイス
第6日 9月7日（水） 西友赤羽本部内 12時半～17時頃	西友マネジメントへの プレゼンテーション	- グループ毎でのプレゼンテーションの実施 - 西友マネジメントメンバーからのフィードバックの提供 - 修了証・バッジ授与・記念撮影
9月(未定) 日本女子大学内	振り返りの会	セルフリーダーシップ・プログラムで得た気づきや感想、提案作成作業などを共有

実習内容の現状・評価・受講生感想

【参加受講生】

(2016年度) 申込34名、抽選により20名参加

【単 位】 前期2単位付与

【課 題】 出席、日誌提出

【企業評価】

執行役員による講評、最優秀グループの選考、表彰

【成績評価】

生涯学習センター所長（教授）、リカレント主任（教授）による
評価（プログラム全体）

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

Recurrent Internship Program

Career Change Internship

日本女子大学リカレント教育課程 NOC日本アウトソーシング株式会社 共催

【実施背景】

1. リカレント授業科目「企業会計入門」、「初級簿記」（簿記3級対象）履修対象者の仕事選択
2. 事務職経験者のキャリアチェンジ
3. 経理事務職の求人数と採用傾向（経験者採用）

【実施条件】

【単位】 なし 【課題】 出席、日誌提出

【評価】 実施企業から大学を通して受講生に通知

【目的】

仕事のブランクがある方、又は事務職方面へのキャリアチェンジ希望の方への事務系実務と当社のような業態のリアルな一面を体験

【実施概要】

- ① 実施日程は3月中旬（3日間）。
- ② 1日2名まで、3日間で最大6名までの受入れ。
- ③ 各人にはPCを貸与し、実務で使用したデータを使って模擬的に体験。
- ④ 研修は業務についての説明後、職場内でインストラクターが不明点等、教えながらデータ処理業務を行う。

【効果】

- ① オフィス実務を経て、改めてオフィス業務の職業適性や、自身が就業する上での強み・弱みについて考える機会を作る。
- ② 会社の雰囲気、仕事のアウトラインに触れる事で、職場での就業イメージを思い起こし、勤務に必要な適応力向上につなげる事ができる。
- ③ 今後の職業選択をする上で、職種・業種選択の判断イメージが付きやすくなる。

【条件等】

- ① 数字データをベースに入力事務を行うため、Excelの取り扱い経験が必要
- ② 雇用関係がない為、労働法関係は対象外
- ③ 大学加入の障害保険適用範囲内での保険対応
- ④ 雇用では無い為、交通費・報酬については支払対象外

【キャリアチェンジインターンシップの流れ】

基礎力の理解（座学）

- ・会社理解（NOC各OS業務理解、社内ルール・コンプライアンス（安全衛・機密保持）
- ・研修業務理解（職場体験で実施予定の業務説明）



職場体験として実際の業務を経験

- ・PC入力を中心とした業務の説明と、実際の入力事務の実施



就業イメージの確認

- ・体験完了後の個人レポート作成と、担当者との振り返り面談でオフィスで業務イメージを固める

時間	実施内容(研修項目)	資料
10:00	出社	
10:00～10:30	会社概要・就業上の注意点	会社概要/安全衛生/機密保持説明書
10:30～11:30	体験業務「口座振替の申込書管理」業務についての説明	口座振替業務マニュアル
11:30～12:00	体験業務「口座振替の申込書管理」業務の実務説明	口座振替業務マニュアル
12:00～13:00	休憩	
13:00～15:30	体験業務「口座振替の申込書管理」業務の実務体験	口座振替業務マニュアル
15:30～16:00	体験研修レポート作成、振り返りミーティング	体験研修レポート

リカレント教育課程の検討課題

1. 離職した社会人女性のための
インターンシップ協力企業の関係等
2. 企業理解
 - ① 「学び直し」「離職期間（ブランク）」
 - ② 求人、企業説明会への参加、採用
3. 再就職後の保育園入所申請
 - ＊本学から文書提出、地方行政のご理解
4. 多様な入学希望者への学び直し環境対応

修了生の声

・かけがえのない宝物

リカレント教育課程での1年間は課題提出、テスト、授業の予習等に追われ、立ち止まっている暇のない日々でした。

しかし頑張った先には素敵なプレゼントが待っていました。様々なスキルと知識、それを身に付けた自信、同級生との絆、そして再就職という目標達成。一度社会に出て、再び大学で学べることは大変贅沢なことです。

この恵まれた時間への感謝を忘れずに学び続けていきたいと
思います。今後も多くの女性がリカレント教育課程で学び
かけがえのない宝物を手に入ることを願っています。

修了生の声

- ・ 自らつかみとる場所

何かが与えられる場所ではなく、自らがつかみとる場所
ということを心得ていれば必ず成果が感じられます。

臆せずチャレンジしてください。

- ・ 人生観が変わりました

リカレント教育課程で受講する内容はどれも社会に必要な知識が満載です。同じ女性同士ですが全く同じ人生を歩まれている人はいません。

リカレント教育課程を受講し、仲間との出会いによって人生観が変わりました。

修了生の声

- ・ 頭の中を混ぜられました

予想以上の授業内容、講師の先生方の素晴らしさでした。
年齢を重ねて固くなっていた頭に様々なことを気付かせて
もらい、頭の中を毎日混ぜられた感じでした。

- ・ 一步踏み出すことの大切さ

最も感じたことは一步踏み出すことの大切さです。受講するにあたっては、きちんと通学できるか、再就職できるか等不安だらけで、1年ほど悩んでの応募でした。

案の定受講してみると勉強が大変で、再就職への不安を抱えた1年でしたが、おかげ様で再就職ができました。考えすぎるより一步踏み出すことが大切だと思います。